

# 陳情書

町  
寒川市議会 議長 殿

陳情者 住所 [REDACTED]  
氏名 高崎 啓史 [REDACTED]

『医療全体の検証とメリットだけではなく悪い側面も同時に衆知を行う体制を同時に構築する体制への移行への陳情』

- ①日本国内にて予防として検査する際、将来的に体に不備、病状が悪化する割合が一定以上にある
- ②病気で正しいとされている医療が実は海外危険とされWHOで過去に廃止されているにも関わらず、日本国内では使われている
- ③最近ワクチンにおいても、そうであるが医療機関の方から一方的にサービスが提供される。本来は市民と医師、行政は同じ立ち位置である筈である。市民自体も専門家に依存するのではなく医療の基礎を自分で知る必要がある
- ④手術 unnecessary な手術、人体実験と捉えてしまってもおかしくないオーバーな医療行為が氾濫している

## 【陳情の理由・経緯等】

現在、体に良くない事が分かっているのに資金を得る為に、ある意味、人を騙してでも悪い医療行為が行われ、医療や予防医療、検査を受けた患者が体を壊す等の事象等が多発している。

元来、医療ではヒポクラテスの誓いがあり悪い部分を治療する為として医療は存在しており、人としての倫理やモラルをベースとしたものであった為、悪い医療行為を避けていた筈であった。しかし、現在は資本主義(お金第一主義)個人主義(自分だけが良ければ良い)という社会に移行してしまっており医師や医療行為自体が上の機関で悪い方向に弄られた場合、検証する機関がほぼ無いに等しく、その医療行為が一般化して今、市民が体調を壊す例、そして悪い行為を利用した行為が多発している側面がある。

もし医療で体調を壊した場合、周りの家族、友人、社会の構築のピースの一つが欠けるのである。それは、その人の周りの環境を悪化させ関係を破壊する一因ともなるのである。本来の人を思いやる医療体制に戻して欲しいと思いますし、医療従事者も間違えるという事も患者には周知が徹底されていない事も現在の問題の一部である。

つまり、多くの医療の問題行為を是正させる方向に市全体が動いて欲しいですし、患者そのものも医療従事者と同様とまで言わずに、ある程度の知識を得る必要がある。そしてプラスの方向を持ち込み善のサイクルで社会が動くよう環境や体制を構築し良い世界へ変化させて欲しいという陳情書である。

## 【詳細羅列】

- ①抗がん剤は海外で危険視されているにも関わらず、現在に於いても日本で使用されている。
- ②ワクチンや医薬品で薬害が起きているのに検証する機関が無い。事前周知が少ない
- ③医療関係者が上の立場とされ一方的に押しつけの医療行為が行われている
- ④メリットのない予防医療が最近多く行われてきている。例としてバリウムを使用した医療行為
- ⑤患者や市民側が知識が無いことによって、それを悪用する医療関係者がいる。であるので市民の知識を上げる環境を構築して欲しい
- ⑥対処療法だけではなく他の医療行為でも治療は可能なので統合医療に移行してほしい

新型コロナウイルスワクチン 9月20日から生後6ヵ月以上の全年齢を対象

# XBB対応型mRNAワクチン 接種は百害あって一利なし!

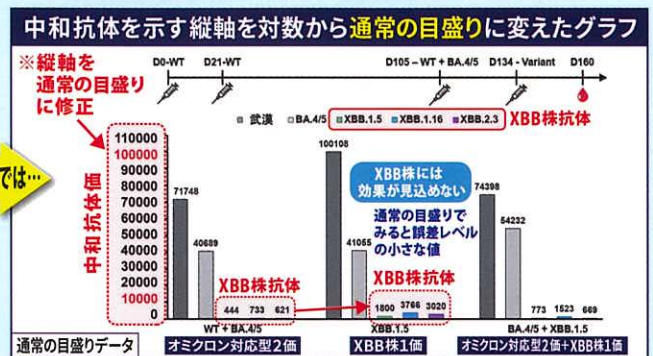
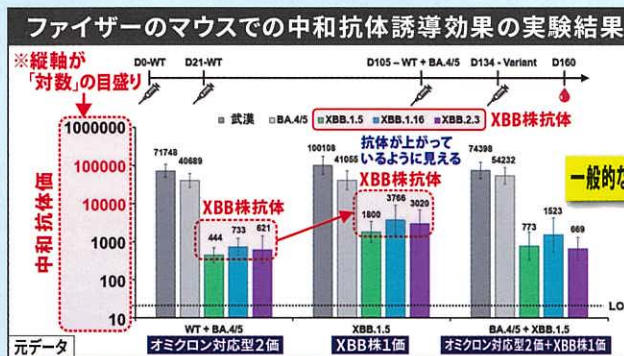
**重篤な副反応が起きる?** これまでのコロナワクチンより毒性が強い可能性大!

**予防効果はない?** 現在はEG.5株が主流。古いXBB株対応ワクチンを打つ意味なし!

**人体への投与は日本人が初!** XBB対応型ワクチンはマウスでの治験のみ!

**武漢株の抗体のみ上昇** 既接種者はこのワクチンを打っても武漢株抗体しかできない!

ファイザー社は抗体が上がっているように見せる印象操作をしています!



出典: FDA, Vaccines and Related Biological Products Advisory Committee June 15, 2023 Meeting Announcement 資料より

※実際にはXBBに対する抗体はほぼ上がらずXBB株には効果が見込めません。厚生労働省ではこの対数グラフ(左の図)が採用されています。

**! コロナワクチンにより多くの方が亡くなり甚大な健康被害が発生しています!**

厚生労働省発表 コロナワクチン接種後の副反応疑い報告状況

ワクチン接種後の死亡者 **2,076人**  
副反応(健康被害)の報告者 **36,457人**

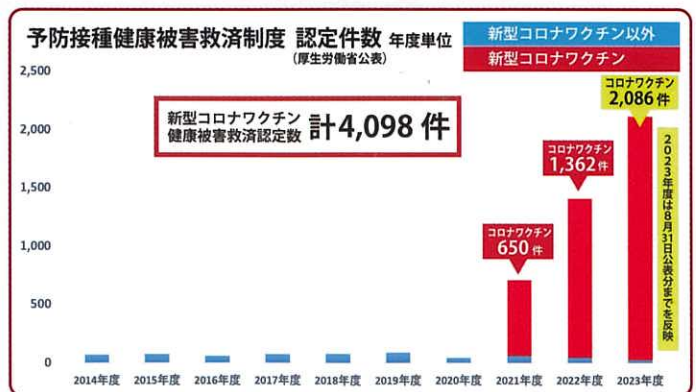
(2023年7月28日厚労省発表4月30日までの報告分) (医療機関からの副反応疑い報告:2023年7月28日厚労省発表)

第94回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会(2023年7月28日)「医療機関からの副反応疑い報告状況について」より

予防接種健康被害救済制度の認定数の比較

	過去44年間のワクチン被害認定 (統計期間:1977年2月~2021年12月)	コロナワクチン被害認定 (統計期間:2021年2月~)
総認定数	<b>3,522件</b>	<b>4,098件</b> [2023年8月31日時点]
死亡認定数	<b>151件</b>	<b>210件</b> [2023年8月31日時点]

データ元:厚生労働省(2023年8月31日)発表



コロナワクチン被害の認定数は過去約44年間の全てのワクチンの被害認定総数を超えています!

ご自身で情報を得るように努めましょう! 下記の団体では最新の情報を発信しています。

**東北有志医師の会**

新型コロナワクチン接種事業の中止  
ワクチン被害者の救済を目指す  
医師・医療従事者の非営利団体  
<https://tohokuishi.localinfo.jp>

「XBB対応型ワクチンの危険性」の動画

XBB対応型mRNAワクチンの危険性について  
分かりやすく説明された動画(ニコニコ動画)です。  
接種を検討される前に是非ご視聴下さい!



QRコードをスマートフォンのQRコードリーダーで読み取ると動画を見ることができます。

監修:東北有志医師の会 発行:mRNAワクチン問題を追求する有志の会

# 知っていますか？日本人がたくさん亡くなっています。

2023年1月の死亡数

今年の1月の死亡数も多いし、去年の2月3月、8月以降もずっと多いわね。何が原因かしら？



170,000  
160,000  
150,000  
140,000  
130,000  
120,000  
110,000  
100,000

## 全国の死亡数 厚生労働省の統計より 人口動態統計速報

※コロナでは説明できない死亡数の増加です。

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

2023年  
2022年  
2021年  
2020年  
2019年  
2018年

この原因は何だろう？ グラフ作成者の **YouTuber** と一緒に考えよう！ 動画はこちら →



# 長引く症状に 悩まされていませんか？

新型コロナワクチン接種後に後遺症の症状を訴える方が急増しています。  
ワクチン接種後からの長期的な体調不良を「ワクチン後遺症」と呼んでいます。  
病院で検査しても異常がない、ワクチン後遺症だと診断されない場合もあります。



接種後に体調不良が続く場合は、ワクチン後遺症の可能性を疑いましょう。

## 【新型コロナワクチン後遺症の代表的な症状】



## 皮膚疾患・带状疱疹

コロナワクチンが導入されてから、免疫低下により年齢を問わない带状疱疹やその他、皮膚疾患が増えています。

ワクチン後遺症は、軽度なものから重篤なものまで多岐に渡ります。

接種後、数ヶ月～1年以上経過してから発症する可能性もあります。

## ワクチン後遺症の情報を知りましょう！

「全国有志医師の会」サイトにワクチン後遺症に関する情報や治療に対応する病院の紹介をしています。

新型コロナワクチン後遺症の  
情報ページへ



## 新型コロナワクチン後遺症 患者の会

ワクチン後遺症患者が一丸となり、治療方法が確立されていない現状の改善や社会的補償・治療費の救済等を求めて活動をしている団体です。

新型コロナワクチン後遺症  
患者の会TOPページへ



行政のワクチン接種記録の保存期間は最低5年です 「予防接種健康被害救済制度」への申請に備えましょう

万が一、ご自身やご家族が発症した時の申請のために書類の保管が必要です。

● **ワクチン接種証明書の保管** ● **必要な書類の保管、体調の変化の記録**

※ワクチン接種証明書を紛失された方はお住まいの自治体で記録保管期間内に再発行の手続きができます。

体調不良の原因がワクチンと疑わしい場合は申請をしましょう



## 全国有志医師の会

Volunteer Medical Association

新型コロナワクチン接種事業の中止、ワクチン被害者の救済を目指す医師・医療従事者の非営利団体

医師428人・歯科医師174人・獣医師73人・その他の医療従事者809人 合計1484人 (2023年5月1日現在)

全国有志医師の会は、新型コロナワクチン接種事業の即時中止を政府に強く求めて活動をしている有志医師及び医療従事者の団体です。海外の医師たちとも連携をとり、ワクチン後遺症の治療法の研究を重ね、後遺症患者の治療にあたりながら、被害者の救済を目指しています。

全国有志医師の会  
TOPページへ



大手メディアでは  
決して報道されない

# 新型コロナワクチン“薬害”を知ってください

新型コロナワクチン接種後に様々な健康被害や体調不良を訴える方や死亡する方が急増していますが、そのほとんどは国や公的機関による救済を受けられずに苦しい状況に置かれています。

## 2,000人を超える接種後の死亡報告

厚生労働省発表 コロなワクチン接種後の副反応疑い報告状況

ワクチン接種後の死亡者

**2,059人**

副反応の報告者

**36,317人**  
(重篤者 8,528人)

第93回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会 (2023年4月28日)  
「医療機関からの副反応疑い報告状況について」より

## 7,700件を超える健康被害救済申請件数

新型コロナワクチン接種後  
健康被害救済審査状況

※2023年5月26日時点

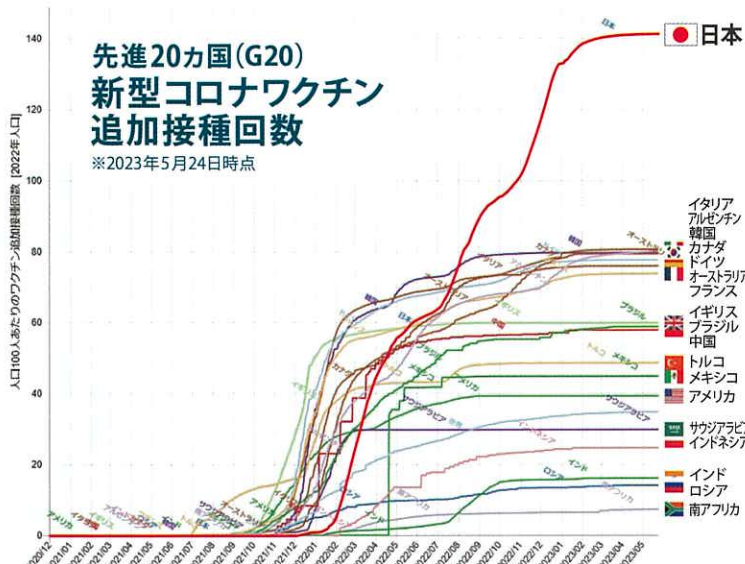


申請受理 **7,735件**

第159回 厚生労働省疾病・障害認定審査会 感染症・予防接種審査分科会 (2023年5月26日)  
「新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査部会の審議結果」より作成  
※死因問わず、死亡一時金・葬祭料請求に対する認定件数  
(出典: 堀内有加里臨床薬学博士作成「予防接種救済申請受理数と審査状況についてのグラフ」より)

現在、新型コロナワクチン接種による「健康被害救済制度」の申請受理数が既に**7,700件**を超えています、さらなる増加の一途をたどっています。  
厚生労働省では申請の着手が追いかず、救済を受けられずにいる方が**4,700人**以上もいます。

## 世界で日本だけが続けている追加接種



(出典: 札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所ゲノム医科学部門)

日本は、世界に比べ圧倒的に多い接種回数となっています。海外の各国では、国民が危険性に気付き2~3回の接種で止めました。  
現在、日本だけがワクチンによる被害を無視したままで、4回、5回、6回と追加接種を続けています。

## NPO法人 駆け込み寺2020・ワクチン被害者遺族の会「繋ぐ会」

### 接種による死亡が疑われる被害者遺族の相談先

ワクチン被害者の救済を目的とした、代表の鶴川和久氏をはじめ、賛同議員、弁護士、医師有志で構成された団体です。被害者遺族だけでなく、ワクチンハラスメントで苦しむ方への無料の相談窓口も設けています。  
ワクチン被害者遺族の会「繋ぐ会」を結成して、ワクチン薬害の集団訴訟の準備が進められています。

NPO法人駆け込み寺2020  
TOPページへ



## 追加接種の度に危険性が増します

### 新型コロナワクチン(mRNAワクチン)の危険性

新型コロナワクチンは人類初の mRNA 遺伝子製剤です。コロナウイルスのスパイクタンパクが人の細胞で作られ、その抗体が自己の免疫反応で生産されるという全く新しい技術の製剤です。このスパイクタンパクが人体に毒性を持つこと、ワクチンの mRNA には人工的な加工が施され、それが人体に様々な悪影響を及ぼす可能性があります。また、長期的な人体への影響は不明です。

国内外での研究・調査では、現在までに以下の事が判明しています。

- ▲ **ワクチン接種者の方がコロナに感染しやすくなり、死亡リスクも高まる。**
- ▲ **人体の免疫が攪乱され、他の感染症や病気を発症しやすくなる。**
- ▲ **スパイクタンパクの毒性により、血栓症や血管炎などを引き起こす可能性が高まる。**
- ▲ **スパイクタンパクを産生する細胞が自己の免疫に攻撃され、自己免疫疾患を発症する可能性が高まる。**



このような危険性の高いワクチンを今後追加接種する必要はありません

全国有志医師の会

